



# 名古屋青年

## NAGOYA YMCA NEWS

2013 **3** No. 683

昭和27年5月13日 第三種郵便物認可  
毎月1日(月刊 定価1部60円)  
(購読料はYMCA会費に含まれています)

●発行所 名古屋キリスト教青年会 〒461-0002 名古屋市東区代官町35番16号 ☎052-932-3366 ●発行人 加藤明宏 ●編集人 中野美幸

### 年間聖句

「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。」

(マタイによる福音書 5章16節)

### 震災地復興支援ツアーに参加して

名古屋グランパスワイズメンズクラブ 吉田一誠



気持ちを言葉で表せない、かける言葉も見つからない。昨年十一月の初め、東日本大震災被災地復興支援ツアーに参加させていただいた時の率直な感想です。

同時に自分も何かをしなければならぬ? それにしても何ができるのだろうか? を問い詰められた重い旅でもありました。

ツアーでは仙台YMCAが支援活動をしている山元町のイチゴ農家をはじめ、TVなどでもよく報道された気仙沼、南三陸、石巻、仙台、福島の前被災地を訪ねました。

仙台YMCA復興支援室大村主事や清水ワイズほかの皆さんが同行していただき、震災時、そこで何が起き、どうなったか、今後の課題は? など、具体的な説明をしていただいたおかげで、報道により断片的に見聞きしただけではわからないことが沢山あることを知

りました。‘まずは多くの人に現地を見て欲しい、知ってほしい’という現場の方々のおっしゃることがよくわかりました。‘復興とは何か?’ 仮に道路や家など、形のあるものが復旧されても、そこで生活を営むには糧となる仕事も必要です。

このような中で‘どういう支援をすればよいのか?’、例えば災害を受けられた地域で生産された産物をまとまった量で継続的に購入、または販売のお手伝いが出来れば、現地での仕事や雇用が確実に繋がります。YMCAやワイズの組織と知恵を活かして、これまでとは違った新しい仕組みを作ればできるかもしれません。

三月にはチャリティウォーク、仙台YMCAの関係者を交えてYYフォーラム、五月には陸前高田市の市長さんを招いて講演会など、名古屋YMCAでも震災支援のためのプログラムが計画されています。多くの皆さんが参加し、時とともに風化しがちな災害の記憶を忘れず継続的な支援を皆で考える機会として行くことで、名古屋YMCAでもこれを通じて新しい絆ができるような活動にしたいものです。(裏面に山元町いちご農家支援のためのいちご通販プロジェクトのご案内があります)

## 震災から2年… 今後の支援を考える

### 震災支援から見てきたこと

名古屋東海ワイズメンズクラブ 鈴木一弘



この2年間、岩手県(釜石・宮古)、宮城県(石巻・仙台)、福島県(南相馬、福島、白河)等を、延40日間ほど支援で赴き、愛知県では広域避難者支援のお手伝いをしています。ここでは、YMCAの持つ、団体としての強さ、存在意義を感じています。私が感じた強みとは、以下の3点です。

利」。子どもの権利条約第31条には「年齢にふさわしい遊びやレクリエーション的活動をする権利」が謳われています。津波、原発事故によって侵され、制限されているもの、ではないでしょうか。YMCAは保養キャンプなどにより、子どもたちがのびのびと過せる機会を設けています。



福島の子どもの保養キャンプより

### 3. ユースの関わり

JOCS(キリスト海外医療協力会)の大江浩総主事は「心のケアに必要な3つのT」を話されました。それは、Time(時間) Tear(涙) Talk(話をする事)の3つです。また「被災地は二度絶望に襲われる」とも言われました。一度目は災害時、そして二度目は支援の波が去るとき。ユースには、将来に続く時間、そして子どもやお年寄りと共に感ずる力があります。過疎の地域を襲った災害で彼らは、被災地の大きな支えになったと思います。また、原発事故避難者は小さな子どもを持つ家族が多いので、高校生・大学生による託児プログラムは母親達からも好評を得ています。



山元町いちご農家支援

YMCAには強みだけでなく、足りない点もあるでしょう。その両面を自覚しながら、これからの支援の在り方を考えていきたいと思っています。

### 1. キリスト教ネットワーク

2011年4月初旬、新生釜石教会では、このネットワークを活かし、医療班(淀川キリスト教病院:大阪市)、心のケア班(牧師、カウンセラーなど)、作業(瓦礫の撤去・家屋の掃除など)班(YMCAスタッフ、若い教会員など)を編成し、地域のボランティアセンターを開設しました。支援物資は、キリスト教系大学から送られたものでした。



新生釜石教会を拠点とした支援活動

### 2. 子どもへのアプローチ

2011年7月、東北大陸とも呼ばれる広大な土地を北へ、南へ走り回る中、地域によって全く違う被災とニーズに戸惑いながらも、共通のキーワードが頭に浮かんできました。それは「子どもの権

東日本大震災支援

『チャリティーウォーク&揚げれ!希望の凧』開催

2011年3月11日に発生した東日本大震災から2年、被災地への支援をどのように継続すべきなのでしょうか。私たち名古屋YMCAでは、被災地への支援の一環として、『チャリティーウォーク』と『揚げれ!希望の凧』というチャリティープログラムを実施いたします。被災した痛みを思い、また被災地の復興を願い、ウォーキングと凧揚げをしませんか。



皆さまからいただく参加費の一部を用いて東北の物産品を購入します。被災地の産業を支え、復興への手助けとしたいと考えています。そして、購入した物産品は、チャリティーウォークの参加賞として、皆さまにお配りいたします。是非、ご参加ください。

- 日時 2013年3月9日(土) 10:00~14:00
集合 地下鉄東山線「東山公園」駅2番出口付近(10:00)
持ち物 昼食・飲み物
参加費 1,000円
申込先 電話/052-932-3366, 052-831-6968
FAX/052-932-5541
メール/info@nagoya-ymca.or.jp

YYフォーラム2013

~忘れてはいけない、まだ出来ること~

昨年に引き続き、東日本大震災を覚えて開催します。ユースリーダーによる被災地支援報告、仙台と福島からゲストを招いての現地レポートを軸にして、現在の被災地の状況を知り、私たちが出来る支援のあり方などを考えたいと思います。YMCA会員の方はもちろん、お知り合いもお誘い合わせてご来場ください。

- 日時 2013年3月20日(祝) 15:00~18:30
場所 名古屋 YMCA3階第1会議室
参加費 学生 無料 一般社会人 500円 ワイズメン 1,000円
※詳しくは、ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。

山元町いちごロード復興のために! 2013年いちご直販プロジェクト

YMCAのボランティアが支援をしているいちご農家から、採れたてのいちごが届きます。一箱4パック入り3,100円(送料含む)。

注文は仙台YMCA東日本大震災支援対策室に直接お申込みいただきます。詳しくは、名古屋YMCAボランティアセンターまでお問い合わせください。注文は4月上旬までが目処となります。

第53回イースター早天礼拝

名古屋地区の、超教派のキリスト教会とキリスト教主義学校・団体による、イースター礼拝が行われます。主イエス・キリストの復活のメッセージをご一緒に聞きましょう。どなたでもお気軽にお越しください。

- 日時 2013年3月31日(日) 7:00~8:00
場所 日本基督教団名古屋中央教会(地下鉄栄駅⑤出口すぐ)

第8回名古屋YMCA朗読発表会

名古屋YMCAの「朗読・話し方クラス」で学ぶ皆さんと、「新老人の会」東海支部朗読サークルの皆さんによる、恒例の朗読発表会です。朗読に関心のある方はぜひお越しください。入場無料。

- 日時 2013年3月24日(日) 13:30~(約2時間半)
場所 名古屋YMCA 3階第1会議室

クリスマス献金ありがとうございました(敬称略・順不同)

Table listing names of donors for Christmas contributions, organized in columns.

維持会員 2012年12月16日~2013年2月15日
維持会員としてのお支えを心より感謝申し上げます。

代官町【継続】

Table listing names of members in the Daikancho area.

ボランティア会員【新入】

深見 太紀 柏木 哲 (敬称略)

ワイズコーナー 3月例会の予定

Table listing the schedule for the 3rd monthly meeting in the Wise Corner.

名古屋YMCA 早天祈禱会

日時: 3月1日(金) 7:45~8:30
場所: 名古屋YMCA
奨励: 日本基督教団名古屋北教会 渡部信子牧師

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-932-3366
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
http://www.ngoymca.com/



名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」